

# 歴史的な事象を様々な視点で捉え、考えを深めることのできる生徒の育成 — 視点をもたせる発問と学び深まりシートの活用を通して —

特別研修員 社会 須永 博紀 (中学校教諭)

## 生徒の実態

- ・学習内容の理解が語句理解に留まってしまっている。
- ・資料から読み取った内容や考えたことを伝え合うのが苦手。
- ・歴史的な事象を様々な視点で捉えることが難しい。



## 教師の願い

- ・歴史的な事象を様々な視点をもって考え、積極的に話し合うことを通して、より深く理解できるようになってほしい。

実践事例: 社会科 中学2年 「開国と幕府の終わり」

## 単元課題の設定

単元課題 「江戸幕府が滅んだ原因を考え、説明しよう。」

## 単元課題の予想

開国をしたことで、武士たちの反乱を招いたから?



つかむ

## 手立て1 視点をもたせる発問

様々な立場から考えたり、異なる時代と比較したりする発問を行う。

単位時間ごとに、歴史的な事象について視点をもたせる発問を行うことで、見方や考え方を働かせて様々な側面から捉えることができるようにする。



本時のめあて「ペリー来航によって日本はどう変わったか考えよう」  
ペリー来航によって、国民(武士、商人、百姓)は、どのような影響を受けたのかな? 調べてみよう。

視点



武士



商人



百姓

追究する

## 手立て2

## 学び深まりシートの活用

めあて	
深く考える問い:	
①自分の考え (調べたことから考えたこと) ※根拠を明確に	②友達の考え
3	
視点を基に考えたこと	友達の考え (意見交流)
結論 (0+0)	意見交流を踏まえて再考察したこと
学習の振り返り	A



異なる立場を調べた人の意見を聞いて、考えを広げてみよう。

交流



一部の武士は、幕府に攻撃をしていた。幕府への不満が大きかったのかも。

百姓は一揆が増えている。これは、貿易による品不足で生活が苦しくなっていたからだと考えたよ。

開国の影響で、物価や金の価値が変化しようだ。商人は経済の混乱の影響を強く受けたと思うよ。



友達の意見を踏まえて、ペリー来航の影響を考え直してみよう。

再考察

自分の考えと友達の考えを整理、比較することで、様々な視点を踏まえた考察ができるようにする。単元を通して活用することで、自分の考えを整理し、学習内容をより深く理解できるようにする。

幕府の政策に対し、百姓だけでなく、商人や武士も強く反発していた。政治や経済が混乱した世の中で、幕府は信頼を失っていったと考えた。



## 単元のまとめ

蓄積した学び深まりシートを活用する

まとめる



自分の単元課題の予想と比べて、より具体的に、様々な側面を踏まえてまとめることができましたね。

考えの深まり

幕府の政治は、外国との関係の変化で混乱した。さらには、貿易が始まり、生活が大きく変化することで経済も混乱した。そのことが、武士や百姓、商人など様々な立場の国民の不満を生み、幕府が減ぶきっかけとなった。

単元全体を捉えた具体的なまとめ



## 歴史的な事象を様々な視点で捉え、考えを深めることのできる生徒

## 成果

- 視点をもたせる発問を単位時間ごとに行い、様々な立場や異なる時代との比較から考察を重ねたことで、単元課題の予想と比べて、異なる側面から考察した内容を踏まえてまとめることができた。
- 学び深まりシートの活用によって、友達の意見を参考に自分の考えを深めたり、新たな気付きにつながる視点を獲得できたりした。それらの学びの蓄積により、単元全体を通して、断片的な知識ではなく、時代の流れを捉えた理解ができるようになった。

## 課題

- 学び深まりシートに入力する内容が多いため、授業時間内での入力の時間の確保が必要である。そのため、学習内容を精選したり、読み取る資料の情報量を調整したりする必要がある。